

麻しん(はしか)患者の発生について(平成31年1月11日)

1月9日(水)、三重県から名古屋市保健所に麻しん患者の接触者に対する健康調査の依頼があり、1月10日(木)名古屋市保健所が対象者に連絡したところ、麻しんを疑う症状がみられたため、名古屋市衛生研究所が遺伝子検査を実施し、麻しん陽性であることが判明しました。

その後、本市が患者の疫学調査を実施し、下記の内容を把握しました。

名古屋市保健所等は、健康観察等を実施するとともに、市民のみなさまへの周知・啓発に努めていきます。

本市における麻しん(はしか)の発生状況等は、新しい患者等が確認された都度、患者の行動等に応じて本市公式ウェブサイト又は市政記者クラブへの資料提供により情報を提供していく予定ですので、よろしくお願ひ致します。

1 患者について

(1) 概要

20歳代 男性 瑞穂区在住 大学生 ワクチン接種歴 なし

(2) 行動等

12月25日(火) 三重県津市で開催された研修会に参加
～29日(土)
1月3日(木) 8時15分発、名古屋駅前から京都へ高速バスを利用
1月4日(金) 発熱症状出現。
16時8分発、京都から名古屋駅へ新幹線こだま(11号車)利用
地下鉄桜通線(徳重方面)を利用し、徒歩自宅へ
1月5日(土) 19時30分頃～21時頃、飲食店A(瑞穂区)利用
1月6日(日) 自宅静養
1月7日(月) 11時頃、医療機関A(瑞穂区)受診(移動は自転車)
13時30分頃、コンビニエンスストアA利用(移動は自動車)
14時30分頃、大学(天白区内)に登校し、帰宅(移動は自動車)
1月8日(火) 発疹出現、自宅静養
1月9日(水) 自宅静養
1月10日(木) 名古屋市衛生研究所による遺伝子検査の結果、麻しん陽性と判定

2 麻しん（はしか）について

- ・今後、さらに麻しん（はしか）が拡がる可能性があるため、麻しん（はしか）を疑う高熱と発疹の症状が現れた場合は、事前に医療機関に連絡し、麻しん（はしか）を疑う旨を伝えた上、医療機関の指示に従い早急に受診していただくことが大切です。また、受診の際は、周囲に感染を拡げないよう公共交通機関の利用は避ける必要があります。
- ・1歳（第1期）と小学校入学前年度（第2期）に、MRワクチンの定期予防接種を忘れずに実施することが肝要です。また、妊娠している方は麻しん（はしか）ワクチンの予防接種ができませんので、ご注意ください。

3 今回の麻しん患者との関連について（平成31年1月10日）

- (1) 三重県ホームページ（「麻しん（はしか）患者の発生について」）

<http://www.pref.mie.lg.jp/YAKUMUS/HP/m0068000016.htm>

- (2) 岐阜県ホームページ（「麻しん（はしか）患者の発生」）

https://www.pref.gifu.lg.jp/event-calendar/c_11223/310110masin.html

岐阜県瑞浪市在住の20代の女性の麻しん患者が、感染可能な時期に以下の本市内の施設・交通機関を利用していたことが岐阜県の調査で確認されております。

1月8日（火）9時58分発、瑞浪駅から金山駅へJR中央線利用

11時から23時頃、名古屋市熱田区内飲食店A勤務

23時35分発、金山駅から瑞浪駅へJR中央線利用

4 参考

今回の麻しん患者の発生で、平成31年の報告数は本市内では2例目（愛知県内では4例目）になります。